

司法福祉定例研修会

高齢や障がいがあるために刑務所出所後直ぐに自立困難な方を支援する地域生活定着支援センターが設置され、検察庁も、知的障がいによりコミュニケーション能力に問題がある被疑者等に対する取り調べの録音・録画を行うようになりましたが、罪に問われた障がい者・高齢者の支援体制は未だに不十分な状況です。

また、刑事弁護にあたる若手の弁護士の多くは、「障がい」を持つ被疑者・被告人を担当していても、「障がい」に気付くことができません。仮に「障がい」の存在を疑っても、誰に相談したらよいかも分かりません。一方で、福祉サイドも、罪を犯したということだけで「支援」を拒むことも未だ珍しくありません。

その結果、障がい者・高齢者などの社会的弱者が、必要な福祉的支援を受けることができず、行き場を無くし、やむを得ず犯罪に手を染めてしまい、刑務所に繰り返し行き続けている現実があります。社会的弱者を犯罪に至らせるまでに追い詰め、刑罰を受けることを余儀なくさせることは、重大な人権侵害であり、司法関係者と福祉関係者の責任は大きいと言わざるを得ません。

そこで当法人では、司法関係者と福祉関係者の相互理解を深め、連携して社会的弱者支援するネットワークの実現を目指して、定例研修会を実施いたします。みなさまのお誘いあわせのご参加をお待ちしています。

場 所 大分市コンパルホール

時 刻 13:30～17:00

参加費 無 料

< 定 例 研 修 会 ス ケ ジ ュ ー ル >

日程	予定 会議室	テ ー マ	
		第1部 13:30～15:00	第2部 15:15～16:45
H26年 10/18(土)	コンパル ホール 303	被疑者・被告人段階からの福祉的支援の必要性について	自立生活サポートセンターこんぱすで行ってきた司法福祉支援の事例報告
H26年 11/22(土)	コンパル ホール 309	認知症高齢者の基礎知識 介護保険制度と支援の基本	刑事司法手続きのしくみと弁護士の役割 (犯罪発生から判決までの流れ)
H26年 12/13(土)	コンパル ホール309	アディクションの基礎知識 回復への支援の基本	刑法各論入門(具体的な犯罪の成立条件や問題点)
H27年 1/17(土)	コンパル ホール309	発達障がい・知的障がいの基礎知識 社会制度と支援の基本	意思能力、行為能力、責任能力の基礎知識
H27年 2/14(土)	コンパル ホール 309	児童家庭問題の基礎知識 社会制度と支援の基本	子どもを守る法律の概要
H27年 3/7(土)	コンパル ホール309	統合失調症の基礎知識 地域生活継続のための支援の基本	医療観察法の概要と事例

※ 講師の都合などにより、予告なくテーマが変更になる場合があります。

※ 事前申し込みのない方は、会場が満員になった場合は、参加できない場合があります。

主催・連絡先 一般社団法人自立生活サポートセンターこんぱす
代表理事 福井信之(弁護士)
〒870-0047 大分市中島西1-4-14市民の権利ビル103
Tel 097-540-5085 Fax 097-540-5086

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

